

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 久野 勇

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和3年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 水道事業ビジョンについて	<p>【趣旨説明】</p> <p>今年の3月に武豊町水道事業ビジョンを策定したとの報告を行政報告会にて説明をいただきました。</p> <p>現在、水道はいつでも使えることが当たり前となっていますが、近年、全国の水道事業を取り巻く環境は、人口減少や節水型製品の普及等による水の使用量と料金収入の減少傾向、また、施設や設備の更新需要の増大や災害対策、職員数の減少等、厳しいものとなっています。このような環境の変化に対応しながらも、将来にわたって、安全で安心な水道サービスの提供が求められていることから、より一層の水道事業の基盤強化に努めることが平成30年の改正水道法で明記されました。</p> <p>生命の維持、そして日常生活の営みはもとより、社会・経済活動を根底から支えている「命の水」を、将来にわたり、守っていくためには、施設の計画的な更新や災害対策</p> <p>の実行による安定供給、健全な経営の確保、人材の確保等、あらゆる面から、水道の基盤強化を図り、適切な事業運営に努めることが必要であると考えます。</p> <p>また、ゼロカーボンシティ、脱炭素社会の実現に向け、水道事業も一事業者として、地球温暖化対策を実行し、将来にわたって健康で安心に暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐ必要があると考えます。</p> <p>そこで、この度の水道事業ビジョンの策定により、どのように基盤強化を図り、安全・安心な水道事業の運営を行なっていくのか、また、どのようにゼロカーボンシティを目指していくのか、以下5点についてお尋ねをいたします。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水道事業ビジョン策定の経緯と目的は。 ② 水の使用量が減少している中で、費用削減のための具体的な対策を検討しているか。 ③ 水道業務を一部民間へ委託していますが、今後はどのようにしていくのか。 ④ ゼロカーボンシティに向けた取り組みについて、水道事業ビジョンに記載されていないが、水道事業としての対応は。 ⑤ 水道料金改定の見通しはあるのか。